

科目名	カレッジプロジェクト							年度	2025
英語科目名								学期	後期
学科・学年	ダンスパフォーマンス科 2年次	必/選	選	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	井口雅人/野中志乃		教員の実務経験	有	実務経験の職種	音楽プロダクション制作業務			
【科目の目的】									
<p>クラス単位で実施し、普段接する事が少ない学生で出来るだけチームを組んで実施する。学内施設もしくは外部会場を使用してライブイベント、発表会、レクリエーション等を実施。1年次に学んだ技術・知識を生かして自身が選択するコース、専攻以外を基本的に選択し果敢に挑戦して行く事。改めて他分野を学ぶので分からない所を学生間で教え合い一つのイベントを成立させる事が最大の目的である。</p>									
【科目の概要】									
<p>クラス単位で実施し、普段接する事が少ない学生で出来るだけチームを組んで実施する。学内施設もしくは外部会場を使用してライブイベント、発表会、レクリエーション等を実施。1年次に学んだ技術・知識を生かして自身が選択するコース、専攻以外を基本的に選択し果敢に挑戦して行く事。改めて他分野を学ぶので分からない所を学生間で教え合い一つのイベントを成立させる事が最大の目的である。</p>									
【到達目標】									
<p>基礎実習期間を振り返る事で他分野の学びを改めて理解する事。学生間で教え合う事で楽しみながら安全に留意して実施する事が出来る能力を育成して行く。</p>									
【授業の注意点】									
<p>学生のイベントではあるが、授業の一環として意識付けを行う。「企画書」「プレゼンテーション」をチームごと実施させイベントの効果測定を行う事でどこまでの理解度と個人の貢献度を図る。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1				
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力				
到達目標 A	積極的に企画に参加し、チームメイトとの親睦を深めている		とりあえず企画に参加し、チームに参加している			到達目標Aについてさらなる努力が必要			
到達目標 B	レクリエーションを企画するにあたり、参加者も企画者も楽しめる内容を心掛けることができている		先陣を切って作業をするわけではないが、チームに参加して作業を手伝っている			到達目標Bについてさらなる努力が必要			
到達目標 C	積極的に運営に参加し、チームメイトとの親睦を深めている		とりあえず運営に参加し、チームに参加している			到達目標Cについてさらなる努力が必要			
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】									

必要に応じて準備する

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

平常点 100% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		カレッジプロジェクト			年度	2025
英語表記					学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ガイダンス	概要・趣旨の理解	1 概要説明	プロジェクトの概要への理解を深める		
			2 チーム編成	チーム編成を行う		
			3 チームビルディング	自己紹介、やりたい事など他者への理解を深める		
2	事前準備	企画制作	1 企画制作	チームごと企画案を提出		
			2 グループワーク	グループディスカッションで1つの企画を提出		
			3 発表	企画概要を発表		
3	事前準備	プレゼンテーション	1 プレゼン準備	各チーム企画のプレゼンテーション準備		
			2 発表	資料・役割分担を決め、企画を発表		
			3 質疑応答/審査	他者からの質疑応答、審査の上企画を決定		
4	事前準備	制作進行	1 役割分担	制作チーム編成、役割分担を行う		
			2 スケジュール	制作スケジュールを制作		
			3 告知	スケジュールに基づき告知を行う		
5	事前準備	出演者	1 募集	出演者募集を行う		
			2 審査	既定の資料をもとに出演者オーディションを実施		
			3 出演者確定	出演者を確定する		
6	事前準備	必要機材	1 機材確認	必要な使用機材を確認		
			2 貸借調整	機材の使用申請を行う		
			3 使用方法	使用方法を確認し適切に使用できるようになる		
7	事前準備	セットリスト	1 出演者資料	出演者資料を提出する		
			2 持ち時間	1グループ当たりの持ち時間を確定		
			3 セットリスト作成	セットリストを作成する		
8	事前準備	タイムテーブル	1 出演者資料	出演者資料を基に出演順の案を制作		
			2 出演順	出演順にセットリストを入れていく		
			3 時間調整など	MCや転換に必要な時間を計算し香盤を確定する		
9	リハーサル	舞台セッティング	1 機材搬入	必要な機材を会場に搬入する		
			2 舞台セッティング	舞台セッティングを行う		
			3 機材動作確認	搬入機材の動作確認を行う		
10	リハーサル	音響	1 機材搬入	必要な機材を会場に搬入する		
			2 舞台セッティング	舞台セッティングを行う		
			3 機材動作確認	搬入機材の動作確認を行う		
11	リハーサル	照明	1 機材搬入	必要な機材を会場に搬入する		
			2 舞台セッティング	舞台セッティングを行う		
			3 機材動作確認	搬入機材の動作確認を行う		
12	リハーサル	出演者	1 場当たり	ステージ原寸での位置確認を行う		
			2 通しリハーサル	通しリハーサルを行う		

			3 照明・音響	テクニカルと併せてのリハを行う		
13	リハーサル	本番進行	1 場当たり	ステージ原寸での位置確認を行う		
			2 ゲネプロ	本番と同じ流れでのリハーサルを行う		
			3 修正	演者・テクニカルともに修正点を確認		
14	イベント運営	イベント運営	1 ゲネプロ	本番と同じ流れでのリハーサルを行う		
			2 イベント制作	会場設営・観客入場などを行う		
			3 イベント本番	本番運営を行う		
15	結果報告	イベント結果報告	1 実数報告	イベント結果の実数報告をまとめ、発表する		
			2 課題検証	各所の課題を提出、解決案をまとめる		
			3 次回課題の発見	次回に向けての課題を考える		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等